

時事新報

第三千二百一十一號
明治三十四年十二月十三日(癸酉)
舊曆辛卯十一月十三日

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり 時事新報には毒號詳細なる商況特價の報告あり

時事新報定額
時事新報は毎號八而乃至十二面にして詳細の商況
價報告あり其代價送料廣告料は左の如し

本社(寄稿)付
東京府下を以て各府縣に通信社あるものありて是より

議会の成行如何
本年の議会の成行如何は世人の最も注意する所にして

聞く所に幾れば政府内部の見解は前内閣と同じく解釋
を以て議會の立入るを不可なりとして既に之を明

方目出たく手をつらむとやらんと漫に想像する所あり
或は豫算不成立云々の説あれども既に政府と衆議院と

官報
選借省令第十五號
明治三十四年十一月一日帝國

官林整理
委員撰
理由
森林は國の利源である元

直税分署間税分署
廢止上奏案
理由
伏て惟るに 陛下國民の

官報
選借省令第十五號
明治三十四年十一月一日帝國

理由
森林は國の利源である元